

鳥獣(特にイノシシ)の被害にあいにくい果樹の管理

果樹の被害は？

- 果実を食べられる
- ⇒さらにイノシシの場合は、
- 園を荒らされる
- 除草や耕うん等、作業に支障



被害だけ？

- 果実が、「エサ」になる
- ⇒野生動物を増やす
- 樹や園が「ひそみ場」になる
- ⇒寝る、出産、隠れ場所になる



原因は？

↓高くて管理できない木



↓ひそみ場になるやぶ



↓収穫残さによる「え付け」
場所



対策は？

○低樹高化で管理しやすく



○ひそみ場をなくす



○エサをなくす(柵で囲う、放棄や
未収穫の果実をなくす)



★不要な樹は、伐採しましょう！

低樹高の方法(参考例)

① 樹を切る(写真はカキ)



② 棚を下げる(写真はキウイフルーツ)

翌年には新しい枝がでるよ



1.8~2m

腰の高さなら、手元で作業ができる



1m程度
(腰の高さ位)



枯れ込み防止のため、枝の切り口には癒合剤を塗布

作成: かながわ鳥獣被害対策支援センター (TEL:0463-22-9521)
協力: 大磯町産業観光課(TEL:0463-61-4100)